

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年4月24日

【2017年4月15日～2017年4月21日までの推移】

【1】先週の回顧

先週、レアルは対ドルではほぼ変わらず、対円では小幅に上昇しました。金利は低下しました。

経済活動指数が市場予想以上の結果となったことで、ブラジル景気に対する楽観的な見方が強まったほか、国際通貨基金(IMF)がブラジルの国内総生産(GDP)成長率予想を引き上げたことは、レアルにとって好材料となりました。

また、Copom(金融政策委員会)の議事録が公表され、中央銀行が次回会合で利下げ幅を拡大することを検討していたことが明らかとなったことや、発表されたインフレ率が市場予想を下回ったことで、今後の利下げ余地が拡大するとの期待が高まったことが、金利の低下材料となりました。

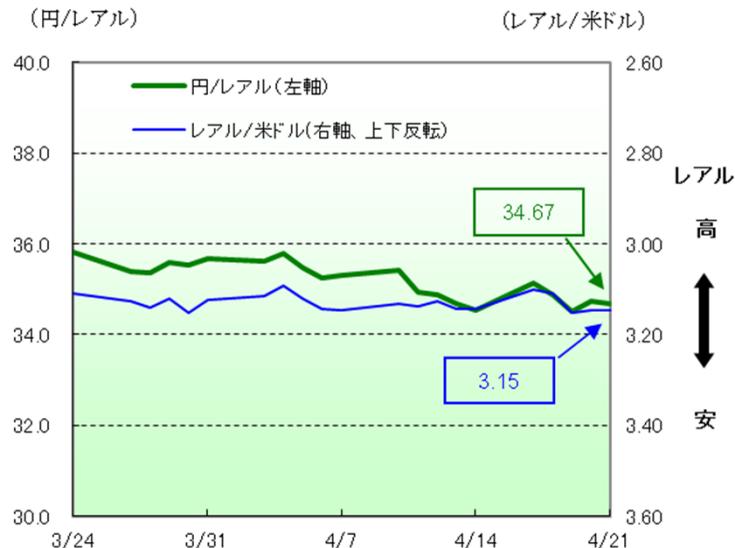
【2】今週の見通し

今週は、経常収支などの経済指標の発表があります。フランス大統領選挙の第1回投票を終えたことや、地政学リスクへの懸念が足元は和らいでいることを背景に、ブラジル金融市場は堅調に推移することが見込まれます。

ブラジル連邦政府は、社会保障制度改革で、労働組合や与党議員から、年金の受給開始年齢をめぐって反対にあい、譲歩を続けていると報じられており、引き続き、年金改革を含む構造改革が注目されます。

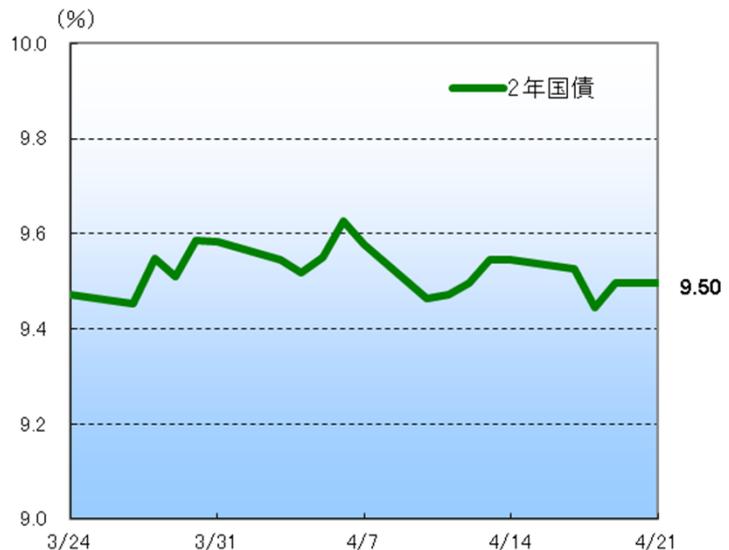
公的年金支給年齢の引き上げなどの緊縮策には労働組合をはじめ各方面から反発がみえますが、テメル政権が財政健全化を着々と進める場合には、海外投資家の信認改善に寄与するとみられ、構造改革期待を背景としたブラジルへの投資活発化を通じてブラジル・レアルを下支えすることが期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年3月24日～2017年4月21日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年3月24日～2017年4月21日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>